

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.229 (2010年11月1日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

当面の
日程

- 11月 1日(月) 連合本部春闘討論集会 ~2日(東京)
- 5日(金) 第8回青年委員会 18時30分(連合徳島)
- 6日(土) 「ゆとり宣言」フェスティバル開会式典 10時
- 7日(日) ボランティア養成講座
- 10日(水) 第18回労働者福祉メーデー
- 12日(金) 連合徳島第22回中間期大会 10時(阿波観光ホテル)

徹底した証拠開示と事実調べを！ — 狭山の再審求め県内集会 —



部落解放徳島地方共闘会議は10月29日18時から、労働福祉会館別館5F大ホールで「寺尾判決36ヶ年糾弾・狭山事件の再審を求める徳島県内集会」を開催し、約150人が参加した。

集会は、主催者を代表して小松議長(連合徳島会長)が「事件が起こってから47年。東京高裁で無期懲役の判決が出されてから36年となる。昨年32年ぶりに三者協議(東京高裁・東京高検・狭山弁護団)が実現し、これまで4回の三者協議がもたれ5項目について36点の証拠が開示されたが、まだ多くの証拠が隠されている。『不見当』とされている『雑木林

の血痕検査報告書』『8ミリフィルム』などの証拠開示を強く求めている。皆さんの力を結集し、石川さんの無実であることの世論を作り上げていこう」とあいさつ。続いて、部落解放同盟

県連・歯朶山書記長、民主党県連副代表・庄野県議、社民党県連・寺前代表から連帯のあいさつを受けた。

続いて、第3次再審に向けてたたかっている石川一雄さん、妻の早智子さんから更なる支援を訴えるあいさつを受けた。また、石川一雄さんはあいさつの中で、「冤とても 金城鉄壁司法とて 吾も繁禪一番で 臨む」と色紙に書き、「司法の壁は厚いが、だからこそ不退転の決意で闘っていく」と現在の心境を語った。

続いて、狭山事件を考える徳島の会代表で狭山弁護団の一員である木村清志弁護士から「第3次再審、証拠開示について」講演を受けた。木村弁護士は、石川



さんが「自白」した取り調べのテープなどが5月に検察側から開示されたことなどを詳しく説明し「一歩前進したことは間違いない」が、今後は12月の三者協議に向け「不見当」とされる証拠の開示を強く求めていると話された。

その後、青年共闘によるシュプレヒコールと「差別裁判うちくださう」を全員で合唱し、最後に「第3次再審闘争、完全無実を勝ち取るまで全力で闘いを推し進める」ことを確認し、小松議長の音頭で団結ガンバローを三唱し、県内集会を閉じた。

また、次回三者協議(12月予定)に向けて、徹底した証拠開示と事実調べを求めるため、東京高裁、東京高検に対する要請ハガキ300枚(各150)を参加者に一人ひとりに書いていただいた。



ファミリーふれあい フェスティバルに 参加しよう！

毎年恒例の「ファミリーふれあいフェスティバル」を開催します。家族そろって参加してください。

とき 11月14日(日)午前10時~
(雨天の場合は、21日に延期)

ところ 吉野川遊園地

吉野川市鴨島町西麻植字江川

主催 「ゆとり宣言」フェスティバル実行委員会

入園料・・・無料

乗り物フリー券・・・1,100円

先着500名にふうせんをプレゼント。賞品多数の「ゆとり抽選会」も実施。焼きそば・うどん・焼き鳥・たこ焼き等の模擬店も出店しています。

ウルトラマン・アートスタジオも好評開催中。
入園200円

